

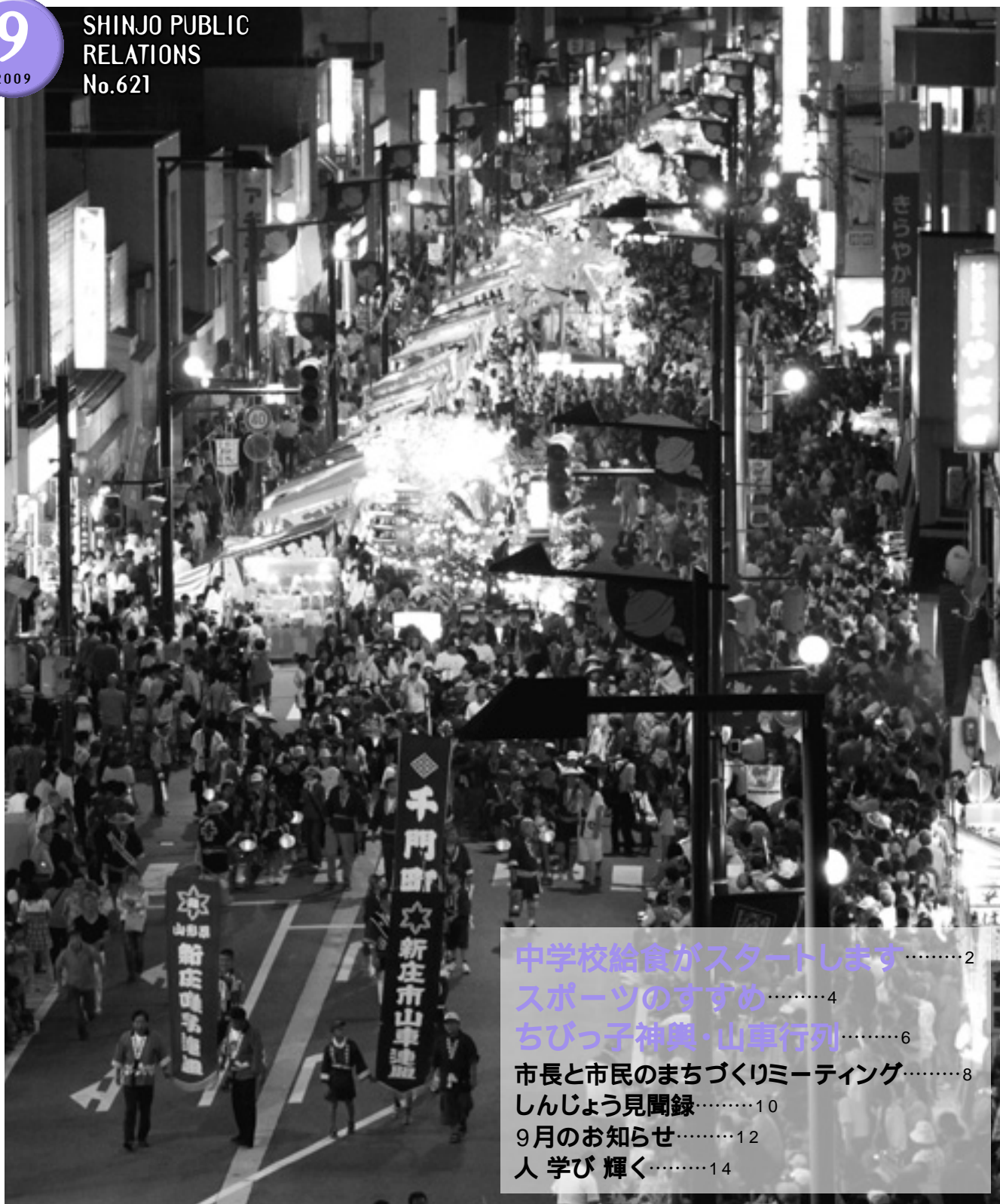
広報

しんじょう

9

2009

SHINJO PUBLIC
RELATIONS
No.621



中学校給食がスタートします……………2
 スポーツのすすめ……………4
 ちびっ子神輿・山車行列……………6
 市長と市民のまちづくりミーティング……………8
 しんじょう見聞録……………10
 9月のお知らせ……………12
 人 学び 輝く……………14

新庄まつり宵まつりパレード(8月24日/駅前通り)



新庄市市制施行60周年
ひと TSUNAGU みらい しんじょう再発見!

新庄市ホームページ

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>
E-mail info@city.shinjo.yamagata.jp





10月から 親子方式の 中学校給食が スタートします。

子どもたちにとって学校給食は、「生きた教材」。食の自己管理能力や望ましい食習慣を身につけることが期待されています。みんなで一緒に食べることにより、人間関係をはぐくみ、栄養バランスのとれた食事を体験します。また、地場産物の活用により、地域の産業や働く人について理解する格好の場が「学校給食」です。

☑ なぜ、今「学校給食」

子どもたちの健全育成のため偏食の改善や食事マナーの指導など教育現場における「食育」が求められています。

市では、中学生の子どもを持つ保護者を対象に学校給食についてのアンケートを行いました。その結果、「安全面や栄養バランスの配慮がなされている」「温かい食事が提供される」「配膳やマナーを含めた食指導が受けられる」「苦手な食材でも給食だと食べる」などの理由から九十四%の保護者が給食を望んでいることがわかりました。

☑ 生きた教材「学校給食」

食育基本法に基づく食育推進基本計画では、「学校給食に地場産物を使用し、「生きた教材」として活用することは、子どもが食材を通じて地域の自然や文化、産業等に関する理解を深め、生産に携わる者の努力や食への感謝の念を育む上で重要で、地産地消を推進する上でも有効な手段」とされています。

その基本理念に沿い、市でも十月から中学校給食を開始します。

☑ 「親子方式」って何？

「親子方式」とは、中学校と同じ学区の小学校で中学校分の給食も調理し配送するという方式で組み合わせは次のとおりです。

新庄小学校	↓	新庄中学校
沼田小学校	↓	明倫中学校
親日新小学校	↓	日新中学校
萩野小学校	↓	萩野中学校
本合海小学校	↓	八向中学校

この「親子方式」以外の小学校となる山屋小学校、北辰小学校、泉田小学校、昭和小学校、升形小学校では、今まで通り各学校単独で給食を実施し、施設についても変更はありません。

☑ 「親子方式」の施設整備

小学校では、中学校分の給食を調理するため、今年度から厨房施設の拡充・更新を含めた給食施設などの改修を進めてきました。具体的には、各小学校で、厨房機器の拡充・更新とそれに伴う電気工事・ガス・給排水工事などの改修工事、一部調理室の増築工事を行いました。各中学校では、給食搬入口（スロープ）、給食・食器運搬機器（コンテナ）、給食保管場



時間で見る「親子方式」

① 食材を発注

材料の注文は学校ごとに行われます。「親子方式」では、中学校の分の食材も小学校で一括して注文します。



② 食材の搬入

「親子方式」の親となる小学校に食材が運ばれます。数量などを確認して調理の準備をします。



③ 調理開始

小学校・中学校の分を合わせて調理します。多いところでは、約千二百人分を調理します。



④ 配送開始

中学校分の給食を中学校へ配送。それぞれの学校で配送距離が異なりますが、保温食缶で温かさを保ちます。



■小学校では、机を向かい合わせ、クラスの間と楽しみながら給食を味わっています。

「親子方式」の特徴

- 既存の小学校の給食設備を使うことで、小規模な施設改修で済む。
- 共同調理方式と比べると食数が少ないため、万が一事故が発生しても被害が少ない。
- 小学校の給食室での調理のため、安全衛生面の管理がしやすい。
- 保温食缶を使用することで、温かさを保った状態で中学校に給食を提供することができる。
- 自校方式と同じような形で対処できるため、個々のアレルギー対応が可能。
- 調理員の学校行事への参加、バイキング料理の活用などによりコミュニケーションが図られる。

所など、給食を受け入れる環境を整備するための工事を行いました。今後、給食の円滑な配膳のため、明倫中学校と日新中学校には、小荷物専用昇降機の設置工事を行います。

■ 工事中の安全確保や学校行事への影響など、保護者の皆さんや先生からたくさんのご協力をいただき十月の給食開始に向け順調に準備が進んでいます。

✓ 給食事業運営協議会を設置

このような施設の整備を行い、「親子方式」の学校給食を開始しますが、給食事業の円滑な運営を進めるため、「新庄市学校給食事業運営協議会」を設置しました。学校給食事業の運営方針や、給食材料に関する事、給食費の設定や徴収方法などについて総合的に検討を行っています。

✓ 民間活力の導入

中学校分を一緒に調理する小学校については、調理業務を民間に委託します。

また、調理業務とともに、中学校への給食の配送・回収業務についても民間に委託しますが、安心・

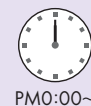
安全を目指した学校給食を実施するために、調理業務と配送・回収業務が一体となり効率的に実施できる業者へ委託することとし、一つの業者が総合的に業務を実施することになりました。

委託先の選定は、「プロポーザル方式」（業者が技術力や経験、事業にのぞむ体制などを含めた提案書を提出し、プレゼンテーションを経て、市で設置した選定審査会で選定する方式）により給食の安全・安心に主眼を置き、学校給食に熱意のある業者を公正に評価し決定しました。

✓ 喜ばれる給食を目指して

このような内容で、十月から市内すべての中学校で学校給食がスタートします。

生きた教材「学校給食」により食育を推進し、親子方式の良い面を最大限に生かしながら、中学校給食が事故なく、子どもたちや保護者、教師にも喜ばれる、安心・安全な方式として定着するよう努めるとともに、地場産物の活用により地域の農産物や産業についての理解を深め、地産地消を推進しながら給食事業の円滑な運営を進めていきます。



PM0:00~

⑤ 中学校に到着

中学校の搬入口から搬入。生徒たちが配膳して給食が始まります。



PM2:15~

⑥ 回収

給食終了後に保温食缶や食器などを回収、小学校に返却。次の日の給食に備えます。



いつまでも、いきいき健康に

スポーツのすすめ

市では、市民みんなが元気で長生きできる社会の実現に向けた健康づくり計画「いきいき健康づくり新庄21」を策定し、食生活と運動をテーマに健康づくりを推進しています。スポーツの秋、今回は、気軽に楽しめるスポーツを推進している体育指導委員の取り組みについて紹介します。



体育指導委員の派遣

市民のみなさんが気軽に運動に取り組むことができるよう体育指導委員を派遣しています。

体育指導委員は、教育委員会が委嘱した市の非常勤職員で、十八人が活動しています。会場に向いて軽い体操や軽スポーツ（ストレッチ体操、グラウンドゴルフ、パークゴルフ、ペタンクなど）の実技指導を行うほか、各種事業の企画やコーディネートとしての役割も担っています。

また、定期的の実技講習会などに参加し、ニュースポーツやレクリエーションをいち早く取り入れ、出前講座などで紹介しています。



出前軽スポーツ教室

子どもから高齢者まで、世代を超えてスポーツを楽しんでもらいたいと、各地区の小学校の体育館を会場に毎年開催しています。

これまで、升形地区と本合海地区でキンボール（大玉を使ったゲーム）やスカイクロス（輪投げ）などの軽スポーツの講習会を行いました。今年度は「まんずちよつとやつてみっぺー！ in 北辰小」と題し、年三回（七・九・十一月）の教室を開催します。七月十日、一回目の教室には、地域に住む約六十人が参加。大変な盛り上がりなのか、キンボールやスカイクロスなどを楽しみました。



■いものこマラソン

体育指導委員が主催し、毎年体育の日開催。3キロ、5キロ、ウォーキングの3コースが設定され、秋の景色を楽しみながらマイペースで完走（完歩）できる大会として人気で、今年で13回目。昨年は好天に恵まれ、総勢234名が参加。運動の後は大鍋いっばいのいものこ汁が、あっという間に完食となりました。



わたしたちと一緒に スポーツを楽しみませんか?

— 体育指導委員に聞きました —

第13回新庄いものこマラソン

～元パイオニアレッドウイングス
吉田実代選手と走ろう～

- とき 10月12日(月)午前9時30分～
- ところ 陸上競技場周辺特設コース
- コース A(5キロ)＝中学生以上、B(3キロ)、C(3キロウオーキング)＝どなたでも(小学生3年生以下は保護者と)
- 参加費 大人1,000円、高校生以下500円(幼児は無料)
- 申し込み 9月28日(月)まで生涯スポーツ課へ

第47回新庄ロードレース大会

- とき 10月4日(日)午前9時開会
- ところ 陸上競技場
- 種目 高校・一般10キロ、高校・一般5キロ、中学男子・高校女子・一般女子3キロ、小学3～6年生1キロ
- 参加費 小・中学生500円、高校・一般700円
- 申し込み 9月25日(金)まで生涯スポーツ課へ

第15回市民ゴルフ大会

- 対象 市民または市内に勤務している人
 - とき 9月27日(日)午前8時～
 - ところ 新庄アーデンゴルフ倶楽部
 - 参加費 1,000円
 - プレー代 8,000円(昼食付き)
 - 定員 200人
 - 申し込み 9月18日(金)まで、新庄アーデンゴルフ倶楽部、生涯スポーツ課、商工観光課へ
- ◎いずれも詳しくは、生涯スポーツ課へ。

☎内線471



新庄21地域スポーツクラブでは、会員を募集しています。年間を通して活動し、子どもから高齢者までスポーツを楽しむことを第一に考え、市民の健康づくりを目指します。週1回以上、運動をしましょう。

2009年第2回市民体力テスト

- とき 9月12日(土)午後1時～
 - ところ 市体育館
 - 持ち物 内履き、タオル、水分など
 - 申し込み 直接会場へ(参加無料)
- ◎詳しくは、新庄21地域スポーツクラブ事務局(体育館内)へ。 ☎23-2978



研修部長
古瀬 美祝さん

Q 古瀬さんにとってスポーツとは何ですか?

スポーツはわたしにとって、まさに「生涯学習」といえます。かつては、学生や一部の運動能力の優れた人たちのものだと思っていました。わたし自身も学生時代、競技者として熱い日々を送っていました。最近ようやくみえてきたことがあります。多種多様な種目の中から今の自分に見合ったものを選び、良い仲間と気持ち良く、そして楽しくいつまでも続けられるのが一番だということ！
七十歳近いわたしの両親もスポーツを楽しんでいます。みなさんもうぞスポーツを！



会長
大場 和夫さん

Q どのような思いで活動していますか?

わたしたち体育指導委員は、スポーツを通し市民の皆さんの健康維持増進の手助けをしようと活動しています。身体を動かすことでストレスを解消させ、心身ともにリフレッシュし、明日への活力にできればと願っています。
スポーツ交流で皆さんから笑顔で「楽しかった、またやりたいね」と言われた時に、体育指導委員をやっていた良かったと、充実感を覚えます。委嘱されて三十年、わたしにとって体育指導委員の活動は、活動自体が日常生活の一部として身体の中に溶け込んでいます。



事業推進部長
矢口 明美さん

Q 活動のなかで印象に残っていることはありますか?

いろいろな活動を通して皆さんが笑顔になり、仲間の輪が広がっていくのを見ながら、あらためてスポーツはすばらしいと感じています。
わたしは最上町で初めて体育指導委員となり、現在は新庄市でニュースポーツの普及や「いものこマラソン」の企画・運営などに携わっています。「初めてやったけれど楽しかった」「最後まで完走してうれしかった」と、参加された人の喜んでくださる言葉が「やっていてよかった」というわたしたちの喜びになっています。



総務部長
高橋 欣也さん

Q 市民の皆さんにメッセージをお願いします。

わたしたち体育指導委員は、市のスポーツ振興のため各学校を訪問する出前教室をはじめ、さまざまなイベントを行っています。今年で十三回目を迎える「新庄いものこマラソン」もその一つです。今回はパイオニアレッドウイングス元キャプテンの吉田実代さんをゲストランナーとしてお迎えします。自分のペースで無理せず、さわやかな汗を流した後は、おいしい芋煮を囲んで新庄の秋を満喫しましょう。わたしたち体育指導委員は、市民の健康づくりのお手伝いをさせていただきます。

市制施行六十周年記念事業

ちびっ子神輿・山車行列を開催

新庄まつり前日の八月二十三日、「ちびっ子神輿・山車行列」を開催しました。
この催しには、市内の子どもたち約千百人が参加し、新庄駅前通りを練り歩きました。
新庄まつりの未来を担う子どもたちは、まつりの文化に触れ、
国重要無形民俗文化財に指定された新庄まつりを一層盛り上げてくれました。



神輿



梅ヶ崎子供育成会

神輿



月岡子供育成会

神輿



円満寺町子供会

神輿



石川町子供会

山車



大手幼稚園

神輿



駅前通り商店会





山車

新庄幼稚園



山車

向陽幼稚園



山車

金沢幼稚園



山車

パリス保育園



山車

乳幼児託児所はぐくみ



山車

新庄聖マール幼稚園



山車

南部保育所



山車

北部保育所



山車

中部保育所



山車

本合海児童センター



山車

泉田保育所



山車

乳幼児保育所



囃子

鳥越囃子小若連



囃子

飛田囃子小若連



囃子

山屋囃子小若連

市長があなたの地域にうかがいます!

～「市長と市民のまちづくりミーティング」開始～

9月から、地域の皆さんと市長が自由に話し合う地域懇談会「市長と市民のまちづくりミーティング」を、開催することになりました。

この懇談会は、市民の皆さんが市長の考えを直接聞き、市政について思っていることや言いたいことなどを市長と話し合い、地域の課題解決や未来のまちづくりに皆さんの考えを反映させようというものです。より良く住み良い新庄市について、市長と地域の皆さんと一緒に考えましょう。

多くの皆さんの参加をお待ちしています。

開催の趣旨について

市では、毎年七月に「区長と市長のまちづくり会議」を開催しています。「区長と市長のまちづくり会議」では、区長が地域を代表して、地域の課題や、市政への意見などについて市長と意見を交換しています。

新しく実施する「市長と市民のまちづくりミーティング」は、地区の要望に応じて市長が地域の公民館などに赴き、今まで、直接話を聞く機会の少なかった若い世代や女性など地区内より多くの皆さんと懇談を行うものです。市長が地域の皆さんと意見交換を行い、さまざまな市民の声を市政に反映させることを目的としています。

開催を希望する場合について

市では、八月下旬から各地区に地域担当職員を派遣し、懇談会開催の趣旨や実施までの流れを各区長に説明し、開催の検討をお願いしています。

ひとつの地区だけでの開催も可能ですが、複数の地区(近隣地域)との合同開催も可能です。各区長を中心に、地域で相談し、懇談会開催を希望することになった場合

は、地域担当職員または総務課協働改革室まで申し込んでください。

懇談会実施までの市長と地区との日程調整などは、地域担当職員が中心となつて行います。地区の皆さんには、できるだけ多くの人に参加いただくよう、地区内での呼びかけをお願いします。

懇談会が終わったら

地域懇談会実施後は、実施報告として懇談会についてのご意見や感想などを提出していただきます。提出いただいた報告書を基に、地

域懇談会の定着に向け、より良い開催方法などについても検討していきたいと思えます。

また、地域の皆さんより出された意見・課題については、調査・検討などを行い、地域の皆さんの協力をいただきながら、今後のまちづくりに生かしていきます。新たなまちづくりに、是非皆さんの貴重なご意見をお聞かせください。



「市長と市民のまちづくりミーティング」

◇ 開催までの流れ ◇

区長を中心に地域で相談し、懇談会開催を希望する場合は、地域担当職員または市総務課まで開催申込書を提出してください。

地域担当職員が、市長の日程と地区の日程を調整し、懇談会開催の日時を区長に連絡します。日程に合わせて、地域で懇談会の会場(公民館など)を準備してください。

懇談会開催の日時が決まりましたら、より多くの皆さんに参加いただくよう地区内で呼びかけをお願いします。

地域懇談会の開催

懇談会が終了しましたら、地域担当職員を通じて報告書を提出してください。

政策実現に向けた検討

©総務課協働改革室 ☎内線218

みらいへ TSUNAGU つなぐ ふるさと文化



地域の伝統を
守り、受け継ぐ

仁田山鹿子踊
庄司 貴弘さん(仁田山)



萩野・仁田山鹿子踊

Hagino Nitayama Sisiodori



萩野鹿子踊



仁田山鹿子踊

●毎年8月26日に、新庄城址戸沢神社と護国神社に奉納される鹿子踊は、市内北部の萩野と仁田山に伝わる民俗芸能。鹿子踊は、7人の踊り手と2人の地方(じかた)で構成される。この鹿子踊は、鹿子が背負っているのぼりの文字「五日風」「十日雨」が示すように、この地方では五日ごとに風が吹き、十日ごとに雨が降ると豊作になるという言い伝えから五穀豊穡を祈願する踊りと考えられている。また、カモシカを模した鹿子踊は、全国唯一のもので、県の無形民俗文化財に指定されている。

「子どものときから父の踊りを見てきたので、いつかは自分もやってみたくて思っていました」と話す庄司さんは、仁田山鹿子踊の踊り手をしています。

「7年ほど前に父親の世代から30代の若い世代に引き継がれました。自分は、仕事の都合で当初からの参加はできませんでしたが、3年前にメンバーに加わりました。仁田山鹿子踊のメンバーは11人。子どものころからあこがれていた踊り手になりたいと集まった有志で活動しています。踊りを覚えるまで約半年。週2回の練習には、父親の世代の地域の先輩方が先生となって教えてくれました。1回約30分の踊りには腹に抱えた羯鼓(太鼓)をたたきながらさまざまな場面展開があり、覚えるまでにとっても苦労しました」

踊りの本番は、毎年8月15日の仁田山地蔵尊の祭りと26日の戸沢神社・護国神社への奉納鹿子踊。新庄まつりの「まちなか鹿子踊」でも多くの人の前で踊りを披露しています。

「地域の伝統を守るという思いもありますが、同世代の仲間や地域の人たちと親睦を深めることができることも魅力のひとつ。自分も父親となった今、子どもたちが大きくなって踊りたいと言ったときには、踊りはもちろん仲間や地域の人との関わりや楽しさも伝えたいです」と話してくれました。地域の伝統は、また次の世代へと受け継がれていきます。

シリーズ

健康と食 がんを遠ざけるための食生活

～9月はがん征圧月間です～

がんは日本人の死因の第1位を占め、死亡者の3人に1人ががんで亡くなり、その数は年々増加しています。がんは一つの原因で発症するのではなく、いくつかの原因が重なって発症する病気とされています。メタボ予防と同じく生活習慣の見直しが有効で、その改善ががんのリスクをおさえる要素の一つと考えられています。

■がんを予防し健康で長生きするためのよい習慣

①野菜・果物は1日400g以上とりましょう

野菜は毎食皿で2つ、果物は毎日1個程度食べましょう。野菜は食道や大腸がん、果物は食道、胃、肺がんのリスクを下げる可能性が高いというWHO(世界保健機関)の評価です。

野菜や果物は循環器疾患や糖尿病にも予防効果があり、特に注目されているのが、抗酸化作用や発ガン性物質を解毒する酵素を活性化する成分が多く含まれていて、がんのリスクを下げるということです。

②塩分は1日10g未満、熱いものはさましてから食べましょう

塩辛いものは週1回程度にし、熱いものは食道や胃を刺激しますのでさましてから食べましょう。

③お酒はほどほどにしましょう

お酒は1日あたり日本酒1合、ビール大びん1本ぐらいを目安にし、百薬の長とするためにも休肝日をもうけ、ほどほどの

量を楽しみ飲みましょう。

④タバコを吸う人は禁煙しましょう

タバコの煙には多くの発ガン物質が含まれ、からだの多くの部位の発ガンに関係しています。肺がんのリスクが男性で4.5倍、女性で4.2倍と吸わない人に比べて高い結果が出ています。

また、タバコの煙は間接的に吸わされている周りの人たちへも重大な影響をおよぼします。タバコを吸う人は禁煙し、吸わない人は他人のタバコの煙を可能な限り避けましょう。

⑤適度な運動をしましょう

体力の低下は様々な病原菌に対する抵抗力を弱めます。病気に負けない体力をつけるためにも適度な運動を毎日続け、生活の中でもこまめによく動くように心がけましょう。

◆◆◆健診を受けましょう◆◆◆

がん検診をうけて早期発見・早期治療をすれば、がんは怖くない病気です。

皆さんも定期的にごがん検診を受けましょう。

9月は健康増進普及月間

1年に1回、健診で体・生活のチェックをしましょう。

今年度の健診はお済みですか。特定健診をぜひ受診しましょう。申し込んでいない方は、健康課へお問い合わせください。

◎詳しくは、健康課健康推進室へ。

☎内線514・516

聞 録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲第5回いずみたいものこフェスティバル(8月2日/泉田川河川公園)



▲こどもなつをつどい(8月4日/市立図書館)



▲コミュニティ助成で事業実施(上金沢町若連)



▲コミュニティ助成で事業実施(川西町若連)



▲最上地域出身者と最上8市町村長が懇談した「最上地域ふると連合会」(8月21日/雪の里情報館)



▲新庄中核工業団地立地企業協議会が児童書を寄贈(8月3日/市役所)

一足早い真夏の“いものこ”

新庄特産のおいしい“いずみたいものこ”を多くの人に味わってもらいたいと「いずみたいものこフェスティバル」が開催されました。“いずみたいものこ”は、独特のぬめりと風味、やわらかさが特徴。市内外から集まった多くの人たちが、真夏の太陽のもと、一足早いアツアツの“いものこ”を味わいました。

夏の木陰で「こどもなつをつどい」

子どもたちに豊かで楽しい夏のひと時を過ごしてもらいたいと市立図書館で「こどもなつをつどい」を開催しました。図書館中庭にある大きなかやの木の下では、新庄南高校の図書委員やガールスカウト日本連盟山形県第7団など4つの団体が大型紙芝居やパネルシアターを披露。会場に集まった子どもたちは、夏の木陰で楽しいおはなしの世界に引き込まれました。

宝くじの助成金で整備

コミュニティ助成事業は、財団法人自治総合センターが宝くじの普及広報事業費を財源として、地域のコミュニティ(地域社会)活動に対して助成を行うものです。今年度は次の団体が助成を受けました。

【川西町若連】助成対象・お祭り備品(法被・提灯など)の整備/助成額250万円

【上金沢町若連】助成対象・お祭り備品(法被・備品庫など)の整備/助成額250万円

※コミュニティ助成事業を実施したい場合は、政策経営課にご相談ください。

☎内線242

市に善意の寄付

新庄中核工業団地立地企業協議会から、市内の学童保育所を利用する子どもたちに使ってもらいたいと昔ばなしや図鑑などの児童図書とDVDを寄贈いただきました。中央・日新・北辰の市内3つの学童保育所で大切に使います。



盛夏の成人式で決意新たに

新成人の新たな出発を祝う成人式を開催しました。今年の参加対象者は市内に住所をおく人と市内の中学校を卒業した新成人538人。式典には399人が参加し、成人代表の相馬友利恵さんが「新成人として困難を乗り越え充実した生活を送りたい」と抱負を述べました。参加した新成人たちは、記念撮影などで友だちとの再会を喜び合いました。



▲記念撮影で友人たちとの再会を祝う新成人(8月14日/市民プラザ)

花と音楽で心地よい時間を

花と音楽で心地よく過ごそうと市民文化会館で「あさがおコンサート」を開催しました。グランドホールでは、さくらクラブ(矢部直子代表)の3人の奏者によるクラリネット、トロンボーン、ピアノの美しい音色が響き、コンサート終了後には、子どもたちに16ミリ映写機によるアニメを上映。アサガオが咲く屋外広場では、かき氷や輪なげなどの縁日コーナーやバルーンアートなどが行われ集まった人たちは夏の日差しのもと楽しく心地よいひと時を過ごしました。



▲あさがおコンサート(8月9日/市民文化会館)

栄光をたたえて

■全国高校定時制通信制陸上大会
女子最優秀選手(100m・走り幅跳び・400m)レー優勝)白崎怜子(霞城学園高校)
■第25回全国小学生陸上競技交流大会
男子ソフトボール投③紀伊海秀(沼田)
■第25回県小学生陸上競技大会
【男子】100m5年①八矢悠雅(新庄)／100m6年⑦三上陽輝(沼田)／走り幅跳び①新山壮一朗(日新)／ソフトボール投①紀伊海秀(沼田)／【女子】80mハードル④石川涼音(日新)⑥門脇優菜(日新)⑦阪彩美(日新)／4×100mレー②石川涼音・阪彩美・長南美里・村形萌(日新)／走幅跳⑦村形萌(日新)
■第49回県中学校総合体育大会
【サッカー】男子③萩野【柔道】男子個人55キロ級③長堀竜也(日新)／81キロ級②山科凌(日新)／女子個人70キロ超級③森遙香(日新)【ソフトテニス】男子個人②高橋圭吾・井上直道(明倫)【陸上】走り幅跳び②青木成美(新庄)四種競技②佐藤心(萩野)



▲新庄駅前商店会が無散水自歩道・電線地中化工事完成記念イベントを開催(8月23日/駅前通り)



▲雪氷防災研究センター一般公開で、真夏の雪を体験(8月7日/雪氷防災研究センター)



▲県小学生陸上競技大会で優勝した新山壮一朗くん(走り幅跳び)、紀伊海秀くん(ボール投)、八矢悠雅くん(100m)が市長を表敬(8月5日/市役所)



▲全国定時制通信制陸上大会で100m、走り幅跳び、400mレーで3冠を達成した白崎怜子さん(8月28日/市役所)

ら・せ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

定額給付金の申請期限は今月末です

申請期限が近づいています!

未申請の方は、早めに申請をお願いします。

○申請期限 9月30日(木)

◎定額給付金室 ☎内線171~174

ポリオ予防接種 実施のお知らせ

▼とき 9月16日(水) / 対象 20年6・7月生まれ、9月28日(月)

▼対象 20年4・5月生まれ

▼受付 午後1時~2時

▼ところ 保健センター

▼持ち物 母子手帳・予診票

☎健康課健康推進室

☎内線513

幼児期のすこやか育み事業 「ともいっく広場」開催

▼対象 市内の幼児と保護者、子どもの好きな人

▼とき 9月26日(土)午前10時30分~11時30分

▼ところ 市民プラザ

▼内容 岸智恵子氏(健康運動指導士)によるリズム運動

▼申し込み 9月15日(火)まで
▼らすこ広場に申込用紙を持参するか最上教育事務所に FAX

新型インフルエンザについて ~事業主の皆さまへ~

新型インフルエンザの感染が新庄市でも確認されました。手洗い・うがいなど感染予防を心がけましょう。

また、今後感染が拡大し、保育施設・学校の臨時休業により育児・看護などで休まざるを得ない従業員がでた場合、休暇取得や在宅勤務を認めるなどの配慮をお願いいたします。

◎詳しくは、総務課へ。 ☎内線216

夜間休日診療所の 9月連休の診療時間について

9月21日(月)、22日(火)、23日(水)は、祝日・休日のため、診療時間は午前9時から午後5時です。(午前の受付は11時30分まで、午後は1時からです)なお、通常の診療は次のとおりです。

○診療科目 内科・小児科

○診療時間

平日(月~土曜日)午後7時~9時30分
休日(日曜日・祝日)午前9時~午後5時

◎詳しくは、夜間休日診療所へ。☎29-6300

防災講演会開催

○とき 9月18日(金)午後6時30分~8時30分

○ところ 最上総合支庁5F講堂(正面玄関から入ってください)

○講師 田村圭子氏(新潟大学危機管理室教授)

○演題 『地域は災害にどう備えるべきか~新潟が経験した2つの災害事例から~』

◎詳しくは、環境課へ。 ☎内線435

ス(2315573)してください。
※参加無料
☎最上教育事務所
☎29-1441

フランス料理教室 参加者募集

▼とき 9月26日(土)午後4時

▼ところ 市民プラザ

▼講師 笹美知子さん

▼材料代 3,500円

▼申し込み 9月24日(木)まで

☎事務局・笹 ☎22-2086

「第3回パパ家事・育児 フォトコンテスト」作品募集

▼募集内容 男性の家事・育児に関する写真

▼募集期間 9月30日(水)まで

▼応募方法 写真にコメント(50字以内)を添えて、住所、氏名、電話番号、年齢、性別、被写体との関係を記入して郵便またはEメールで

▼応募先 市民プラザ「ぷらっと」内LINKS、Eメール:ks1122@mail.goone.jp
※優秀作品には賞品があります。
☎LINKS(午後5時以降)
☎090-5188-1083

市社会福祉協議会会長杯 ワナゲ大会参加者募集

▼対象 市内の満60歳以上の人で5人1チームで参加

▼とき 10月23日(金)午前9時

▼ところ 市体育館

▼申し込み 9月24日(木)まで

☎市社会福祉協議会 ☎22-5797

女性のための 在宅ワーク基礎講座

▼対象 パソコンの基本操作(文字入力)ができる人

▼とき 10月14日(水)、16日(金)、19日(月)、21日(水)午前9時30分

午後3時30分

各種無料相談のお知らせ

【法の記念日 無料法律相談】

○とき 10月5日(月)午前10時~午後3時

○ところ 市民文化会館・第3練習室

○対応 山形県弁護士会新庄支部

【行政相談】

○とき 10月5日(月)午前10時~午後3時

○ところ 市民文化会館・第1練習室

○対応 行政相談委員

◎詳しくは、市民課市民相談室へ。☎内線125

▼ところ 県立山形職業能力開発専門学校(山形市)

▼受講料 各講座10,500円(テキスト代含む)

▼申し込み 9月30日(水)まで

(定員10人を超えた場合は抽選)

☎県立山形職業能力開発専門学校 ☎023-644-9227

新庄市民登山会 「空蔵山登山」参加者募集

▼対象 小学4年以上の健康な人(先着40人) ▼とき 9月27日(日)午前8時市役所前集合

▼参加費 1,100円

▼申し込み 9月24日(木)まで

☎生涯スポーツ課 ☎内線471

読み終えた本を図書館へ

図書館まつりを11月7日(土)・8日(日)に開催します。本のリサイクルフェアも開設しますので、読み終えていらなくなった

適合高齢者専用賃貸住宅
特定高齢者生活介護(24時間介護付)
いままでに無かった、
新しい住まいの提案

内見会
受付開始!

適合高齢者
専用賃貸住宅

日和(ひより) 新庄市本町4-33 (にらっせ新庄1階) ☎32-0330

— 介護認定された方、障がい者の方限定の移送サービス —

介護100円タクシー

■介護保険内
30分以内 運賃100円
http://www.kaisei-company.com/ (予約制)ご不明な点は
お気軽にお電話下さい。

■介護保険外(障がい者の方1割引)
15分以内 運賃1,560円

TEL 0233-29-2912



山火事予防ポスター・標語の募集
 ポスター原画は中学生・高校生、
 標語は中学生・高校生・一般から募集します。
 ○9月30日(水)締め切り
 ◎最上総合支庁森林整備課 ☎29-1350

9月のお・知

本がありましたら図書館にお持ちください。(1人5冊まで)

▼受付期間 10月25日(日)まで
 問 市立図書館 ☎22-2189

弁護士による住まいの無料法律相談のご案内

▼とき 9月17日(水)午後1時30分～4時

▼ところ 最上総合支庁
 ▼申し込み 9月16日(水)まで(先着4人)

問 県すまい情報センター
 ☎23-3116

山形県高齢者総合相談センターのご案内

一般相談

日常生活の困りごと相談です。
 ▼とき 毎週月～金曜日 午前9時～午後5時

専門相談

【弁護士による法律相談】
 ▼とき 毎週月曜日

【税理士による税金相談】

▼とき 偶数月の第一水曜日
 【認知症相談】

▼とき 毎週火・金曜日

※専門相談の時間は、いずれも午後1時30分～4時で、事前の予約が必要です。

問 山形県高齢者総合相談センター
 ☎023-62216511

刈払機を貸し出します

▼とき 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時(祝日などの閉庁日除く)
 ▼内容 河川敷の除草を行っているボランティア団体に無料で貸し出します(燃料は利用者負担)

問 最上総合支庁建設総務課
 ☎29-1376

みんなの森づくり活動助成市民団体募集

財団法人都市緑化基金が、

花王(株)の支援を受け、森づくり活動団体へ助成を行います。

▼対象 町内会などの市民団体が平成22年3月～23年3月

に行う森づくり活動
 ▼内容 100万円を上限に30団体程度に助成

▼申し込み 10月31日(土)まで
 ※詳しくは都市緑化基金ホームページをご覧ください。

問 都市緑化基金
 http://www.urban-green.or.jp/
 ☎03-3265-8065

障害基礎年金について

障害基礎年金は、国民年金加入中や、20歳前で公的年金に加入していない時の病やけがで、一定の障がいが残ったときに請求できます。保険料の納付状況や症状が審査され、1級か2級(障害者手帳などの級とは別)に該当すると年金が受給

問 東北労働金庫新庄支店
 ☎22-7151

問 市民課国民年金担当
 ☎内線134

県内へ就職促進のためのふるさと奨学ローン

▼融資対象 高校・大学などに入学・在学している人の学資金や生活資金
 ▼融資額 最高1,000万円まで
 ▼金利(保証料込み) 【5年固定】年2.7%、【7年固定】年3.05%、【10年固定】年3.35%

▼融資期間 10年以内
 ※9月30日(水)までの特別金利です。

問 東北労働金庫新庄支店
 ☎22-7151

催しなど

アルプス音楽団新庄公演

新庄市出身の竹田年志さん率いる音楽団によるアルペン民族音楽をお楽しみください。
 ●とき 9月16日(水)午後6時開場・7時開演
 ●ところ 市民文化会館屋外広場
 ●入場料 1,500円(ドリンク付き)
 ◎詳しくは、市民文化会館へ。 ☎22-7029

まちなかギャラリー「ヤマダイのお造り2009」

●とき 9月19日(土)～25日(金)
 ●ところ 駅前通り商店街など
 ●内容 駅前通りシャッターペイント、コミュニティカフェ(空き店舗利用)、ゆめりあストリートギャラリー絵画展示、映画会など
 ◎詳しくは、NPO法人芸術文化振興市民ネットワーク新庄・松田へ。 ☎090-4889-6168

ぶらっとオープンカフェ

●とき 9月27日(日)午前10時～11時30分
 ●ところ 市民活動交流ひろば「ぶらっと」
 ●内容 ぶらっとの設備・機能の紹介
 ◎参加無料です。詳しくは、ぶらっとへ。
 ☎23-6211、Eメール plat@ic-net.or.jp

産直まゆの郷「お彼岸市」

●とき 9月17日(水)～19日(金)午前9時～午後6時
 ●ところ 産直まゆの郷
 ●内容 旬野菜・お彼岸用花・農作物の販売
 ◎詳しくは、産直まゆの郷へ。 ☎23-5007

第66回新庄親と子のよい映画をみる会「ブタがいた教室」上映会

●とき 9月26日(土)①午前10時～②午後2時～③午後7時～(上映約110分)
 ●ところ 市民文化会館大ホール
 ●前売券 親子(大人1人・子ども1人)1,500円、一般1,000円、3歳～中学生800円
 ◎詳しくは、新庄親と子のよい映画をみる会「石田」へ。 ☎22-6155

第50回市民雪セミナー/心の健康づくり講演会「育もう心の元気」

●とき 9月27日(日)午後2時～3時30分
 ●ところ 雪の里情報館
 ●講師 佐々木久長氏(秋田大学医学部准教授)
 ※託児希望の場合は9月18日(金)まで電話予約
 ◎参加無料です。詳しくは、最上保健所保健企画課へ。 ☎29-1257

応援します！在宅介護

福祉用具レンタル事業

福祉用具を必要な期間お貸しするシステムです。経済的にご利用いただけます。

住宅改修事業

長年住み慣れた家で安心して生活していただけるように、身体状況に合わせて、バリアフリー仕様への改修の相談・施工を承ります。公的補助金(上限20万円)の申請等につきましてもアドバイス致します。

福祉用具販売事業

搬入時の設置や取扱い方法のご説明からメンテナンスなどにも迅速に対応致します。

患者搬送事業

車椅子やベッドのまま、病院の通院、入院、退院、養護福祉施設などへの移送、また、旅行などにも迅速いたします。お気軽にご相談下さい。(事前に予約が必要です) ▲福祉タクシー利用券・重度身体障害者移送サービス事業もご利用いただけます。



株式会社 医療救急サービス
 〒996-0026 新庄市大町2-26
 フリーダイヤル ☎0120-64-1199
<http://www.3ic-net.or.jp/~sheep/index.html>

いきいき
新庄人

「おなごりフェスティバル」で
新庄まつりをピーアール

上茶屋町若連頭
庄司 政宏さん(上茶屋町)

「小さい子どもからお年寄りまで理解できる場面を山車で作りたいと思い、今年の題材を決めました」そう話してくれた庄司さんは、上茶屋町の頭(代表)を務めています。



「今年の題材『おりひめ伝説』は、お互いを思いながら天の川を隔てて、離ればなれのおり姫と彦星が年に1度、七夕の日だけに会えるという多くの人々が知っている物語。日本で唯一、毎日おり姫星が新庄市の上空を通ることから『星の降る街・しんじょう』と題して、二人が出会う夜空の場面を表現しています。今年は、旧暦の七夕が新庄まつり中の8月26日にあたるのも、何かの縁を感じますね。

制作は6月中旬から始まりました。若連のメンバーは20代から60代までの総勢30人。若い人は、自分から率先して動き、先輩は的確なアドバイスをくれます。先輩たちの熟練の技と、若い人たちの情熱で、毎年、より良い山車を作ることができるのだと思っています。

今年、上茶屋町若連は9月12日(土)に秋田県能代市

で行われる『おなごりフェスティバル』に参加します。他にも、青森ねぶた祭りや秋田の竿灯祭りなど東北地方を代表する祭りが集まります。東北でも新庄まつりを知らない人がたくさんいます。新庄まつりの素晴らしさをこの機会に十分にピーアールし、1台だけの山車でなく、21台の山車パレードを見にぜひ新庄まつりに来てほしいですね」おなごりフェスティバル参加に向け、今年は山車のパーツも分解し輸送しやすいように作っているとのこと。

「おなごりフェスティバルに参加するので、今年は優秀山車の投票の対象にはなりません、他の祭りに参加することは若い人たちにとって良い刺激になると思います。この貴重な経験を来年以降の山車づくりに生かしてほしいですね」と山車づくりに対する熱意と意気込みを語ってくれた庄司さん。新庄まつりの山車を能代市民にも印象づけてくれることでしょう。



きらり輝く

サークル・
団体紹介

最上少年少女発明クラブ

指導者 安食 秀一

最上少年少女発明クラブは、科学やものづくりに秀でた子どもを育成しようとして平成十七年に創設されました。小学三年から六年生までの三十人の会員が最上広域教育研究センターで科学実験やものづくりなどの活動をしています。

毎年県内の少年少女発明クラブが集まって、自作の模型で速さやデザインを競うコンテストがあり、今年は新庄で開催されました。地元開催ということで、最上クラブの会員は実力を十分に発揮し、かざ車カー、ホバークラフトのスピード部門で1位をとるなど好成績をおさめ、団体優勝を果たしました。十月に行われる「山形県発明くふう展」にも作品を出展します。



▲第6回山形県少年少女発明クラブコンテストに参加した会員(8月1日/市民プラザ)

郷土の歴史

ひとくち

新庄市史

③まかどの地蔵と

角沢街道の丸仏

新庄まつりが、宝暦五年(一七五五)の大凶作・飢饉と深い関わりがあることは前回述べた。しかし、この飢饉の折の餓死者を悼み、供養する心も永年に亘って受け継がれていることは、あまり知られていないかもしれない。

一つは、現在、接引寺(せきいんじ)に建つ「まかどの地蔵」。この地蔵様は、宝暦五年の飢饉の餓死者を弔って建てられたもので、かつては、羽州街道の南入口、「柳の清水」(色蕉史蹟)の向かい側ー現在地蔵堂の建っているところーにあった。ちよつと、城下町特有の曲がり角になっている所なので、「まかど」という名が付いたと思われる。飢饉の折、食へ物を求めて城下へと流れてきた多くの難民が、この辺で力尽きて亡くなったのはなかつたらうか。

地蔵様の口元が黒くよこれているのは、春・秋のお彼岸に、人々が「ぼた餅(おはぎ)」を食べさせるからである。食へるものが無く飢えて亡くなった人々への、一番の供養だといつ。

二つ目は、角沢街道の丸仏。現在の尾花沢新庄道路入口(松本)辺の

～図書館はオアシス～

BOOKS NOW!

今月のおすすめ

『鉄道おくのほそ道紀行』週末芭蕉旅

芦原 伸／著

松尾芭蕉「おくのほそ道」の足跡を鉄道でたどる。深川、千住から日光、仙台、尾花沢、山寺、最上川、羽黒山、月山、越後路、金沢、大垣へ。

“青春18きっぷ”を使った、気ままな俳句旅の記録です。



● 今月のテーマ展示 ●

「色 — color —」

世の中は、たくさん色であふれています。鮮やかな色、地味な色、好きな色、嫌いな色とさまざまです。今月はそんな色にまつわる本を集め、展示しています。

この機会に、あなたにあった素敵な色 — color — を見つけてみませんか？

新着児童図書

- ▲クグノタカラバコ……………いとうひろし
- ▲ふしぎの森のヤーヤーなみだのみつ…内田 麟太郎
- ▲トリンシア先生、大逆転!……………南房 秀久
- ▲ランプの精トル・ジーニー 12…ミランダ・ジョーンズ
- ▲だいすきなかあさん……………いもと ようこ
- ▲ちびまる子ちゃんの手作り教室…さくら ももこ
- ▲クレヨンちゃんのまんが恐竜おもしろブック…臼井 儀人
- ▲やどかり……………久保 秀一 写真
- ▲表現する仕事がしたい……………岩波書店

新着一般図書

- ▲メガロマニア — あるいは「覆された宝石」への旅 — ……恩田 陸
- ▲叛旗は胸にありて……………犬飼 六岐
- ▲道絶えずば、また……………松井 今朝子
- ▲植物図鑑……………有川 浩
- ▲寂しい写楽……………宇江佐 真理
- ▲アダマースの饗宴……………牧村 一人
- ▲宵山万華鏡……………森見 登美彦
- ▲学問……………山田 詠美
- ▲ジバング島発見記……………山本 兼一
- ▲芙蓉千里……………須賀しのぶ
- ▲寺よ、変われ……………高橋 卓志
- ▲未病を治す薬膳酒 — 自分で作る美味しいお酒 — ……渡邊 修
- ▲ダ・ヴィンチ全作品・全解剖…阪急コミュニケーションズ
- ▲九十九怪談 第2夜……………木原 浩勝
- ▲みるみる理解できる太陽と惑星…ニュートンプレス
- ▲夜中にチョコレートを食べる女性たち…幕内 秀夫
- ▲缶つま — うまカンタン! 缶詰で作る酒のおつまみ — ……世界文化社
- ▲パンの耳 — もったいない! 捨てないアイデア料理 — ……ブティック社
- ▲基礎から学ぶ! スポーツテピング…高橋 仁

- 開館時間 午前10時～午後6時
- 休館日 毎週月曜日
- ◎市立図書館 ☎22-2189

蔵書検索



地域で支える家庭教育

～家庭教育支援チームの取り組み～



▲保護者に子育てアドバイス (7月15日/北部保育所)

市では、平成二十年度から県の委託を受けて家庭教育事業を行っています。この事業は、核家族が多くなり、以前は祖父母や地域などに支えられていた子育てが、家庭の中に限定され、不安を抱える親たちをサポートしようとして始まりました。身近な地域に「家庭教育支援チーム」を設置し、家庭教育情報や学習機会の提供、相談体制の充実などの支援を行うこと



▲じゃがいもでおやつ作り (8月7日/中央学童保育所)

とにより、地域全体で家庭教育を支援していくこととする事業です。昨年度は子育て支援センターや中学校などで、保護者が集まる機会を利用して十五回の講座を行いました。今年度は、訪問・相談活動を中心に活動しています。夏休みには学童保育所を訪れ、じゃがいもを使ったおやつ教室を開催。子どもたちは自分で作ることの楽しさを学び、家庭で作



▲わらすこ広場での活動 (8月18日)

つたり、家族に体験を話せるように絵や感想を書きました。また、毎月第一・二・三火曜日の午前中と月一回土曜日午前十一時～午後二時までわらすこ広場で子どもたちと触れ合いながら、保護者の相談を受けています。要望があれば家庭訪問もしますので、お気軽にご相談ください。

◎生涯学習課

☎内線461

東側、旧新庄測候所近くに建てられている。宝暦五年の飢饉の折、次々と死んでいく餓死者を、この角沢街道の柳の木の下に大きな穴を掘って埋めたという記録があり、後の天明三年（二七八三）の飢饉の折も同様のことがあったのであろう。前者の六十一回忌、後者の十三回忌に当たる文化十三年（一八一六）に、南本町観音寺の住職と同寺の講中の人たちが建立したものである。この丸仏と背中合わせに、明和七年（一七七〇）、地元松本村の人々が建てた「餓死聖霊位」と刻んだ碑もある。この丸仏と碑は、現在も地元の人たちに見守られ、いつも周りがきれいにされ、花や供物が供えられている。新庄市民の新庄まつりへの心意気と併せてここに受け継がれている心も大いに誇りながら、なお次代に引き継いでいきたいものである。



▲2台の新しい山車を展示中(歴史センターお祭りホール)

新庄まつりが国指定の重要無形民俗文化財へ＝熱い人々を追う!

新庄まつり

特別編② — 今年之最優秀山車を展示中! 奥山恵子さん(松本)

最高の天気、最高の人出、風もあって暑さもほどほど、今年の「新庄まつり」は国指定文化財の称号を得て、最高の状態で最高の盛りあがりを見せた。国重文の文字は、ポスターや案内パンフレット、二十一すべての山車にもしつかり登場し、大勢の観客の目に焼きついた。新調されたのぼり旗に刻まれた「国重要無形民俗文化財」の文字が街中でひるがえるたび、この祭りを二百五十四年の承ぎにわたって守り伝えてきた新庄の人々の熱いこころも一緒に躍って喜んでいくことを実感させられた。

右ひつ子神輿・山車行列で賑わった八月二十三日も含め、祭り期間中の人出は四十六万人。祭りが終わって、囃子の若い衆はそれぞれの地域に戻り、神輿と衣装は新庄城址の倉にしまわれ、何カ月もかけて作られた各町内の山車は人形や館を残して解体されたが、下金沢町の『鏡獅子』と落合町の『平知盛の亡霊』撰州大物浦』は、歌舞伎部門・物語部門の最優秀山車としてふるさと歴史センターに、また上金沢町の『川中島守護神降臨』は新庄山車連盟の高い評価を得て新庄駅にと、それぞれ一年間展示され、全国の人々に新庄まつりの素晴らしさをPRする役目をスタートさせた。

歴史センターのオープンが昭和五十八年、これまで五十四台の最優秀山車が展示されてきた。歴代の展示山車の案内・説明にあたってきた、もがみ物産協会の奥山恵子さん。「山車は年々大型化していますが、構成も緻密で大胆になり、飾りにいたっては息をのむほどの豪華な山車が増えてきました。また、いつでも観覧できるので、その分山車製作の面でも大きく役立ってきたのでしょうね。三年前から野川陽山・北山先生の山車人形が、それこそ間近で鑑賞できるようになった特別展示室の設置もよかったですね」と話してくれた。毎年つくりかえるのが新庄まつり山車の大きな特徴だが、歴史センターの展示山車は季節季節、また訪れる人の気分によって、不思議と毎回違う表情を見せてくれる。祭りのにぎわいの中で迎えた山車と、歴史映像を織り込みながら鮮やかな照明に浮かびあがる新庄山車会館(歴史センター)の山車とを、ぜひ見比べてほしい。

市民の心意気が伝わった新庄まつり

市長 コラム

八月二十四日が月曜日の平日とあって、人出が心配されましたが、天候にも恵まれ、午後六時の出発式のころには大勢の人が出ていました。宵まつりは、幻想的な雰囲気観客を魅了します。特に今年には「国の重要無形民俗文化財」に指定されたこともあり、各町内の山車も格別力がこもったように感じました。

二十五日の「神輿渡御行列」は待つファンも多く、新庄まつりに無くてはならない敵かな行事です。行列の後に新庄駅に向けて二十一台の山車が一緒に動き出します。今年は、湯沢市長にもパレードの先頭に入っていたことができました。今年の冬に湯沢の犬っこまつりに行ったお返しに、湯沢市民約百五十人を連れてまつりに参加してくれました。

二十六日の飾り山車も定番となりました。酒田から来た若い方は「初めてきた。来年は宵まつりを見たい」、川崎から来た方は「こんなにすごい祭りがあるなんて知らなかった。来年はほかの人も連れてきたい」と言っていました。

獅子踊りの奉納もめったに見ることのできない無形民俗文化財とあって多くの観客を楽しませてくれました。

獅子の響きが耳に残りながらも、新庄まつりもフィナーレを迎え、無事終了することができました。神輿渡御行列の関係者、山車連盟、囃子連盟、そして陰で支えてくれた警察の皆さんや多くの関係者に感謝申し上げます。

八月二十四日が月曜日の平日とあって、人出が心配されましたが、天候にも恵まれ、午後六時の出発式のころには大勢の人が出ていました。宵まつりは、幻想的な雰囲気観客を魅了します。特に今年には「国の重要無形民俗文化財」に指定されたこともあり、各町内の山車も格別力がこもったように感じました。

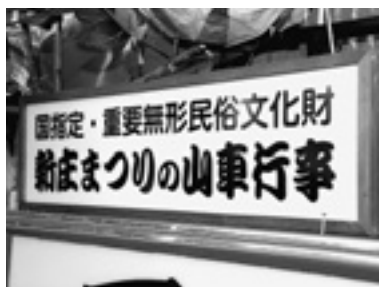
二十五日の「神輿渡御行列」は待つファンも多く、新庄まつりに無くてはならない敵かな行事です。行列の後に新庄駅に向けて二十一台の山車が一緒に動き出します。今年は、湯沢市長にもパレードの先頭に入っていたことができました。今年の冬に湯沢の犬っこまつりに行ったお返しに、湯沢市民約百五十人を連れてまつりに参加してくれました。

二十六日の飾り山車も定番となりました。酒田から来た若い方は「初めてきた。来年は宵まつりを見たい」、川崎から来た方は「こんなにすごい祭りがあるなんて知らなかった。来年はほかの人も連れてきたい」と言っていました。

紙 真 写 表

国指定重要無形民俗文化財 新庄まつり

国の重要無形民俗文化財の指定を受けてはじめての新庄まつり。山車の正面に「国指定・重要無形民俗文化財 新庄まつりの山車行事」という照明入りの看板を一台一台設置し、精魂込めてつくりあげられた山車行列は沿道に集まった観客を魅了しました。



7 月末現在の新庄人

39,457人(39,840人)

女	20,600人(20,800人)
男	18,857人(19,040人)
世帯数	13,492世帯(13,508世帯)

6月の異動

出生	27人(26人)
死亡	44人(24人)
転入	76人(92人)
転出	90人(68人)

※()は1年前の住民基本台帳